

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①イングリッシュキャンプ
- ②あつま歌謡ステージ/初心者向け陶芸教室/熊学習
- ③まが玉づくり/第4回ディスカバリーカルチャー/読書感想文コンクール
- ④「町民スケートリンク」の利用について/厚真町スケート記録会/11月定例教育委員会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

英語と触れ合う2日間

イングリッシュキャンプ—厚真で外国を感じる—



教育委員会では、英語やジェスチャー等を用いて外国人とコミュニケーションをとることの楽しさや難しさに触れ、外国語を意欲的に学ぶためのきっかけづくりを目的に、9月～12月にかけて、町内中学生を対象にした厚真町イングリッシュキャンプを3回開催しました。キャンプは2日間日程で行われ、延べ21人が参加し、カヌー体験、調理実習の他、様々なゲームなどを通して、外国人との交流を楽しんでいました。

この取組は、以前行われていた海外派遣事業の代替案として令和3年度から始まりましたが、「厚真町に外国をつくる」というコンセプトのもと、日本語が一切通じない環境で2日間を過ごします。パスポートを作成し入国審査や通貨の両替、病院での対応など、実際に外国に行かなければ体験できないことを学びます。

参加者からは「ジェスチャーを使って、自分の思いを伝えることができてうれしかった」「試行錯誤しながら、外国人とたくさん話することができた」などの感想が多く挙げられていました。

※12月に延期した日程は2月に実施予定です。



お財布を盗まれ警察官に事情を説明する体験



入国審査の体験

約30人が 歌声を披露 **あつま歌謡ステージ**

11月24日（日）、総合福祉センターを会場に、厚真町文化協会が主催する「あつま歌謡ステージ」を開催しました。本来であれば、先月実施した文化祭ウィークに合わせて実施予定でしたが、衆議院選挙と日程が重なったため、予定よりも1カ月遅れての開催となりました。

この歌謡ステージは昨年度から実施しており、今回は、町内の歌謡団体などから約30人の方々が自慢の歌声を披露しました。ステージの最後には、キングレコード所属の野村吉文さんの特別ステージがあり、参加者や観覧者にとって、音楽のすばらしさを実感できた1日となりました。



歌声を披露する来賓の宮坂町長

世界に一つの マイカップ作り **初心者向け陶芸教室**

11月16日（土）、12月7日（土）の2日間、創作館じゅらく舎陶芸室で初心者向け陶芸教室を行いました。

7人の参加者の皆さんは、厚真町陶芸同好会の方々の指導を受けながら、それぞれの個性があふれるマグカップを作りました。

使いやすいように飲み口を工夫したり、取っ手の部分をデザイン性豊かにしたり、アイデアあふれる作品が多く、参加者の皆さんはお互いのマグカップを見せ合いながら会話が弾むとても穏やかな時間でした。

今回製作したカップは、本焼きの後に参加者の皆さんにお渡しします。

今後も陶芸教室の実施を予定していますので、開催の際はぜひご参加ください。



熊の学習会 ～よかったベアー～



実物の熊の毛皮を紹介する早稲田氏

11月14日（木）、町内2つの小学校で北海道のヒグマについての学習会が実施されました。厚真中央小学校では1年生～3年生が、また上厚真小学校では5年生が熊の生態や出会わないための対策について、NPO法人の熊専門調査研究員の早稲田宏一氏を講師に招き、本物の熊の毛皮や生まれたばかりの赤ちゃんのぬいぐるみを見せながらわかりやすく説明していました。また、熊は雑食性で木の実やアリなどを食べるが、基本的に「人」を食べないことが紹介されると、子どもたちからは「えっ～!」「うそー!」などの驚きの声が飛び交っていました。森を歩く時は大きな音を出すなど、ヒグマに出会わないための対策も学びました。

大好評!

冬の「まが玉づくり」のお知らせ



子どもから大人まで大好評の事業「まが玉づくり」を行います。
縄文時代から受け継がれている美意識の1つ「まが玉」。北海道産の天然石を使った世界に1つだけのストラップ付きのオリジナルの石のペンダントをつくってみませんか。

現在、軽舞事務所で保管をしている開拓文化財や、ウポポイで展示されたアイヌ出土文化財などを学芸員の解説付きでの特別見学もあります。通常は土日祝日のため閉館していますが、まが玉づくりと合わせて施設の見学もできますので、ぜひ参加ください。

- ◆日 時 令和7年1月13日(月・祝) 10時~12時
- ◆場 所 軽舞遺跡調査整理事務所(旧軽舞小学校)
- ◆定 員 先着20人程度(小学生以上)
※ 小学3年生以下は保護者同伴
- ◆参加費 無料
- ◆申込・問合せ 締め切り 1月10日(金) 17時まで
軽舞事務所 ☎28-2733
メール shakai@town.atsuma.lg.jp



6月に参加者が作った「まが玉」

第4回ディスカバリーカルチャー開催します! 今回のテーマは… プラネタリウム×日本舞踊

プラネタリウムの定期投影と合わせて、多種多様な学びの機会を提供するイベント、ディスカバリーカルチャーのご案内です。今回のテーマは日本舞踊。「日本舞踊ってどんなもの?」「ちょっとだけ体験してみたい!」、そんな願いを叶える企画です。普段はあまりなじみのない日本舞踊の奥深さに触れてみませんか?

Discovery culture
ディスカバリーカルチャー

この事業は、プラネタリウムの定期投影会に合わせて、多種多様な学びの機会を提供するものです。

第4回「プラネタリウム×日本舞踊」

【内容】
今回のテーマは日本舞踊! 日常的にはあまりなじみのない日本舞踊ですが、厚真町内では、令和2年度から厚真町文化協会に所属している「日本舞踊教室菟メ座(うめざ)」の皆さんの活躍でとても盛り上がりつつあるのをご存じですか? 初めてやる人もやったことある人も、舞踊を通して日本の伝統文化を楽しく体験しましょう!

日時 1月11日(土)10:00~11:30

場所 厚真町青少年センター(厚真165番地の1)

対象 どなたでも(定員20名)

申込 厚真町教育委員会社会教育グループ
TEL 0145-27-2495



第4回ディスカバリーカルチャー詳細

- 日 時: 令和7年1月11日(土)
10時~11時30分
- 場 所: 青少年センター2階プラネタリウム室
- 対 象: どなたでも(20人程度)
- 持ち物: 飲み物
- 申込み: 社会教育グループへ電話申し込み(右記参照)

【問合せ・申込み】

社会教育グループ ☎27-2495

新しい何かに出会う場所

令和6年度 読書感想文コンクール

教育委員会では、町内小学校に通う児童を対象とした「読書感想文コンクール」を今年も開催します。

心に残った1冊の思い出を、感想文で表現してみましょう。

応募者には参加賞のプレゼントもありますので、ぜひご参加ください。詳細については、各学校から配付される案内チラシをご覧ください。皆様のご応募お待ちしております!

応募期間: 令和7年1月16日(木) 締め切り

応募資格: 厚真町在住の小学生

- | | | |
|------|------------|----------|
| 表 彰: | 最優秀賞の中から大賞 | 1点 |
| | 各学年: 最優秀賞 | 1点 |
| | 優秀賞 | 該当があれば選出 |
| | 参加賞 | 応募者全員 |

※受賞者を対象に2月に表彰式を行います。

【問合せ】 教育委員会社会教育グループ

☎27-2495

令和6年度「町民スケートリンク」の利用について

今シーズンの町民スケートリンクの利用は次のとおりとなっています。

◆利用期間

令和6年12月27日（金）から
令和7年2月15日（土）を予定しています
※決まり次第、防災無線及び町ホームページにてお知らせします。

◆利用時間

平日・土曜：午前9時～午後8時
日曜・祝日：午前9時～午後5時

○年末年始の利用時間について

12月31日 午前9時～正午まで

1月1日 休み

1月2日・3日 午後1時～4時まで

※天候や気温等により利用期間が変更になる場合もあります。

◆問合せ

厚真町教育委員会 ☎27-2495
スケートリンク管理棟 ☎27-3232

第44回 厚真町スケート記録会

「第44回厚真町スケート記録会」を右記日程のとおり開催します。50mから1,500mのトラック競技の他、アイスホッケーやフィギュアスケートが有利なスラローム走も行います。詳しくは、各学校から配布されるチラシをご覧ください。

◆と き 令和7年1月25日（土）
開会式：午前9時00分から
競技開始：午前9時30分から

◆ところ 町民スケートリンク（新町）

◆その他 中止の場合は1月26日（日）に延期となります。

◆問合せ 厚真町教育委員会社会教育グループ
☎27-2495

11月定例教育委員会

11月28日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

11月の校長会議、教頭会議／厚真町立学校職員セーフティラリーについて／厚真町文化祭ウィーク／図書フェスティバル／加藤登紀子コンサート／秋の天体観望会／軽舞事務所 秋の特別開放／陶芸教室／放課後子ども教室「カレーランチ交流会」／ミニバレーウインターリーグ／他2件

◆議案

在宅勤務実施要領の制定について／厚真町民に対する体育振興及び文化振興行事参加費用助成金交付要綱の一部改正について／他2件

◆協議

厚真町スポーツ施設設置条例の一部改正について

◆その他

「二十歳のつどい」の開催について／他2件

★問合せ

教育委員会学校教育グループ
☎27-2494

冬季休業中の 学校閉庁日について

町内の小中学校では、次のとおり冬季休業中の学校閉庁日が設けられています。閉庁日の期間は学校内に教職員が不在となるため、学校への問い合わせや転出入の手続きは行えませんのでご注意ください。

【閉庁日】

○厚真中央小学校
令和6年12月28日（土）～1月5日（日）

○上厚真小学校
令和6年12月28日（土）～1月6日（月）

○厚真中学校
令和6年12月27日（金）～1月5日（日）

○厚南中学校
令和6年12月27日（金）～1月5日（日）

【注意事項】

●緊急の場合は、学校が提示する連絡先または学校教育グループにご連絡ください。

●閉庁日の期間及びその前日は、学校開放による体育館等の利用はできません。

【問合せ】

教育委員会学校教育グループ
☎27-2494



図書室だより

厚真高校生のがんばり 図書室でも

厚真高校では授業の一環として職場体験を行っています。卒業後の進路を考えるきっかけになればと、公民館図書室では毎年希望者を受け入れています。

今年も2年生の3人に、貸出・返却といった閲覧業務を中心に、雑誌の受入作業、上厚真小学校での移動図書、図書室での展示制作に挑戦してもらいました。職場体験に来た生徒には毎年おすすめ本のPOPを作成してもらっているのですが、今年度は趣向を変え、何が入っているかは借りてみてからの楽しみという福袋形式の展示作品にしました。包みには本を選んだメッセージとプレゼントのような飾りつけを添えてくれたので、少し早めのクリスマスプレゼントのような素敵な仕上がりになりました。

なお、昨年職場体験に来てくれた3年生は「図書室の利用者を増やすためには」という課題に取り組むため、図書室の現状や課題解決のためのアンケート調査を実施しました。

全国的に、小学生以上の利用者は学年が上がるにつれて本を読む時間が減り、図書館へ行く回数が減るといわれています。しかし、厚真高校生たちのように、やってみたいことや利用者が楽しんでくれる工夫を考えてくれる世代もいます。一緒にによりよい、楽しい図書室づくりに取り組んでいきたいと思います。



実際の職場体験の展示コーナー。それぞれの包みも飾りも凝っていて、かわいい！

2024年 厚真町で最も読まれた本は

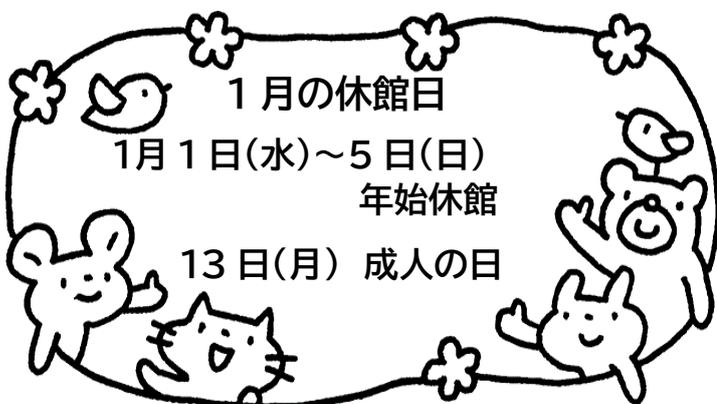
河崎秋子「ともぐい」
柴田ケイコ「パンどろぼうとなぞのフランスパン」
ともに貸出回数 15回 でした。

2025 年は

1月6日(月)9時から

開館します

- 青少年センター図書室開館時間
9時00分～17時00分(月・水・金・土・日)
9時00分～19時00分(火・木)
※祝日、年末年始は休館となります。
- 厚南会館図書室
9時00分～17時00分(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。



1月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、
23日(木) 10時00分から10時30分まで
場所：厚真子育て支援センター

☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

目が覚めてカーテンを開けると、いつもよりまぶしい朝の光に、思わず目がくらむ新雪の季節。長い冬が始まると、大人は憂うつな気持ちになりがちですが、子どもたちの心はおどっているようです。とても暖かそうな真新しいスノーブーツを履いて、うっすらと雪が積もったグラウンドに、たくさんの足跡を残しながら駆けていきます。スキーウェアや手袋など、雪遊びに対応した服装がまだ整っていない様子に、風邪をひかないか心配していますが、「手が冷たい！」と言いながらも、自分の手の熱で溶けていくフワフワとした雪の感覚を楽しんでいる姿を見ると、これもきっと子ども時代の特権なのだろうと思ってしまいます。

去る11月23日(土・祝)に、今年も厚北地域防災コミュニティセンター『ならやま』にお邪魔して、放課後子ども教室・特別教室を実施しました。昨年はどうどんづくりをしましたでしたが、今年は厚真町内でとれた野菜やお米を使ってカレーライスをつくり、地域みなさんと一緒にお昼ごはんを食べる交流会を企画しました。早速、施設の担当さんに相談をすると、「せっかくだから『ならやま』で実施している地域活動も共催させてもらえないだろうか？」という提案をいただきました。『ならやま』では地域コミュニティを維持する活動として、北部地域に住まわれている男性高齢者の方々の集まり、通称“男子会”を定期的に行われています。この活動を同日に開催することで、参加者の皆さんに普段なかなか出会うことのない子どもたちと交流してもらいたいとのことでした。『ならやま』の皆さんには、食材の提供に加えて、近隣住民の方々に子どもたちの調理のサポートなどをしていただき、子ども教室からは、特製カードで楽しむビンゴ大会や、宝引きといったゲームを用意し、子どもから大人まで一緒になって交流できるプログラムをお届けしました。子ども教室の参加者である小学生とその保護者、男子会のメンバー、『ならやま』のサポーターの方々、総勢50名でのカレーパーティーは、にぎやかでおなかも心も満たされる時間になりました。男子会やサポーターの皆さんからは、「子どもたちに元気を分けてもらった」「いつもはカレーも1皿食べきれないけれど、今日は完食できた。美味しかった!」「お年寄りにとって、子どもたちの交流は良い刺激になるのはもちろんだけれど、子どもたちにとっても良い経験よね」という感想をいただきました。また、帰り際、「準備もご苦労だったでしょう。いやー、楽しかったよ、ありがとう」と声をかけていただいたことも、とても嬉しかったです。この一言が、また次の一歩につながる原動力となります。来年もみんなで一緒にごはんを食べましょうね。子どもたちとまた遊びに来ますから、まだまだ元気でいてくださいね、と次の約束を交わし、温かい気持ちで帰路につきました。参加者の皆さん、ご協力をいただいた皆さんに、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

